

第九回
埼玉県障害者アート
企画展

sonic boom
ufu ♡



第九回埼玉県障害者アート企画展 概要

展覧会名	「ソニックブーム⇩うふっ」
会期	2018.11.23 (Fri)～25 (Sun)
会場	大宮ソニックシティ 第2・3・4・5 展示場
アートコーディネーター	中津川 浩章(美術家)
主催	埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±O 社会福祉法人みぬま福祉会 ※「埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±O」とは 埼玉県内の障害者アートに取り組む福祉施設・事業所がつくったネットワークです。 「TAMAP」には「埼玉をもっとアップ(向上)していきたい(SAITAMA+UP)」と いう意味が込められています。
共催	埼玉県
後援	J R 東日本大宮支社(以下50音順) 上尾市、朝霞市、春日部市、川口市、川越市、川島町、行田市、久喜市、熊谷市、 鴻巣市、さいたま市、白岡市、秩父市、所沢市、戸田市、新座市、東松山市、 日高市、三郷市、皆野町、吉川市、嵐山町
協力	アートセンター集協力委員 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会 con*tio
助成	障害者芸術文化活動普及支援事業(埼玉県補助事業)

第九回埼玉県障害者アート企画展

「ソニックブーム ⇨ うふっ」によせて

埼玉県障害者アート企画展は今年で第九回目を迎えました。埼玉県では表現活動に取り組む施設が増え「表現すること」への関心はますます広がっています。それにともなって、作家の多様性、ヴォリュームはどんどん豊かになり、すぐれた作品が多くの人の目に触れることで、福祉の世界を超えて社会へと、さまざまな影響を及ぼしています。

今回の「ソニックブーム ⇨ うふっ」展は、これまでの埼玉県立近代美術館から大宮ソニックシティに会場を移して開催されることになりました。障害者にとってアートとは？表現とは？福祉とは？そんな問いを大きく包括する展覧会だった前回のコンセプトを踏襲しつつ、「美術」としての原点を確認する展覧会として位置付け企画しました。作家数は半分に、しかし一人の作品数は前回よりずっと増え、一人ひとりのアーティストの表現としての奥行きが伝わるようになっていきます。

52人のアーティストが埼玉県全域からセレクトされ、100点以上の作品が並びます。なぐり描きのような絵画、独特のビジョン、ひたすらポップな世界を貫く作家、綿密な写実性、内面を深く掘り下げた作家、折りの思いが形になったもの、行為性を積み重ねたものなど。どの作品も、障害があるのにならなく、障害があるからこそその生きるエネルギーに満ちています。人間が表現することの原点がここにあります。

この展覧会は、福祉関係者と学芸員、大学教員、画家、彫刻家など美術の専門家を含む多彩なメンバーたちで議論を重ねながらつくりあげてきた展覧会です。そこに関わる福祉現場のスタッフの存在によって、美術だけの視点では見えてこない福祉現場からの視線や価値観が加わり、選ばれた作品群は独特の厚みが増していると言えます。背景にある作品生成のプロセスやスタッフの関わり合いを知ることによって、生きている人間の存在とその表現に対する新たな視界が開かれ、アートと福祉のそれぞれからの目線が交錯し越境していきながら浮かび上がってくる新しい視野が広がります。

日本の障害者アートは、さまざまなプロセスを経て変遷しながら少しずつ認知され、社会に新しい価値観を生み出してきました。今回のこの展覧会は厚生労働省助成による障害者芸術文化活動普及支援事業の一環としてもすすめられてきたプロジェクトです。障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が今年成立し、また 2020年のパラリンピック開催に向けて、これからさまざまな取り組みが日本全国で行われ、障害者アートの環境はこれからますます変化をしていくことでしょう。

アートディレクター

中津川 浩章

作家一覧(掲載頁索引)

7 相田 大希 1985 鴻巣市

8 青木 悟 1985 川越市

9 浅見 裕弘 1984 新座市

10 阿部 香織 1984 春日部市

11 石井 健知 1996 三郷市

12 卯月 寛 1984 比企郡川島町

13 EMI 1980 行田市

14 尾ヶ井 保秋 1956 入間郡

15 恩田 貴弘 1987 所沢市

16 勝山 直斗 2006 さいたま市

17 けいこ 1965 久喜市

18 河野 大典 1981 本庄市

19 コバヤシカオル 1975 比企郡嵐山町

20 小林ちゃん 1995 さいたま市

21 小谷野 正元 1953 朝霞市

22 斉藤 淳太 1996 川口市

23 坂庭 儀信 1960 所沢市

24 杉浦 篤 1970 白岡市

25 鈴木 祥太 1990 鴻巣市

26 簗戸 彩子 1985 新座市

27 清野 幸生 1971 鶴ヶ島市

28 関口 エイ子 1952 秩父市

29 高野 博史 1973 さいたま市

30 高橋 恵子 1981 春日部市

31 高橋 裕子 1963 上尾市

32 田中 稔 1962 上尾市

33 田中 悠紀 1979 川口市

34 豊島 房子 1959 吉川市

35 なお丸 1986

36 仲川 渉 1993 入間市

37 西川 泰弘 1960 川口市

38 西 隆博 1974 戸田市

39 西田 洋一 1961 秩父市

40 納田 裕加 1966 川口市

41 野村 真優子 1996 熊谷市

42 野本 竜士 1971 川口市

43 白田 直紀 1986 川口市

44 林 良樹 2001 久喜市

45 ひろき 1997 さいたま市

46 福島 達夫 1972 本庄市

47 福島 尚 1969 日高市

48 堀口 孝一 1934 秩父市

49 前田 貴 1970 川口市

50 前田 聡男 1966 熊谷市

51 宮原 裕美 1975 川越市

52 村木 和男 1984 比企郡嵐山町

53 森川 里緒奈 1998 比企郡嵐山町

54 横井 雅美 1968 春日部市

55 横山 涼 1988 川口市

56 吉川 健司 1977 比企郡嵐山町

57 米山 怜 1997 川口市

58 渡邊 あや 1987 川口市



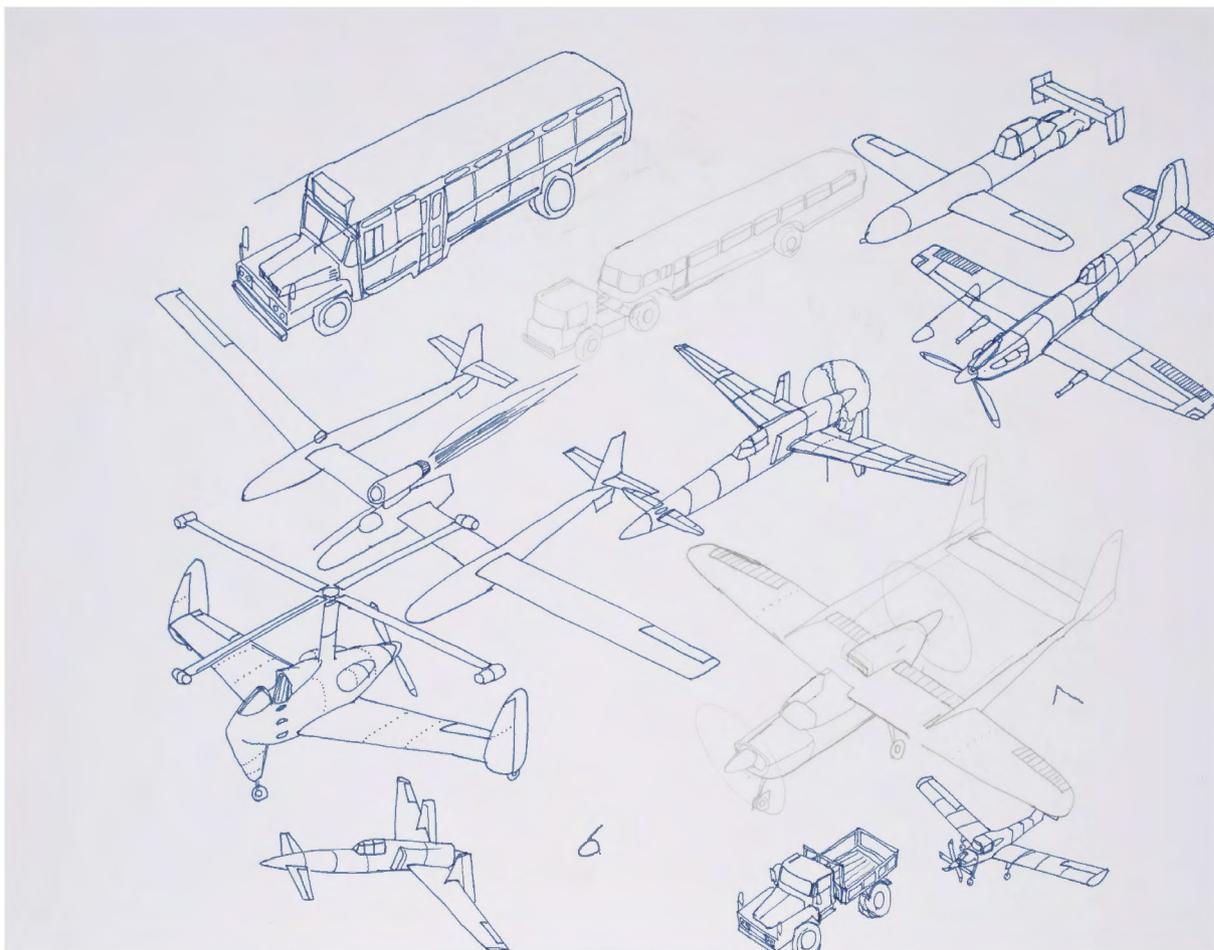
作品

n name

t title



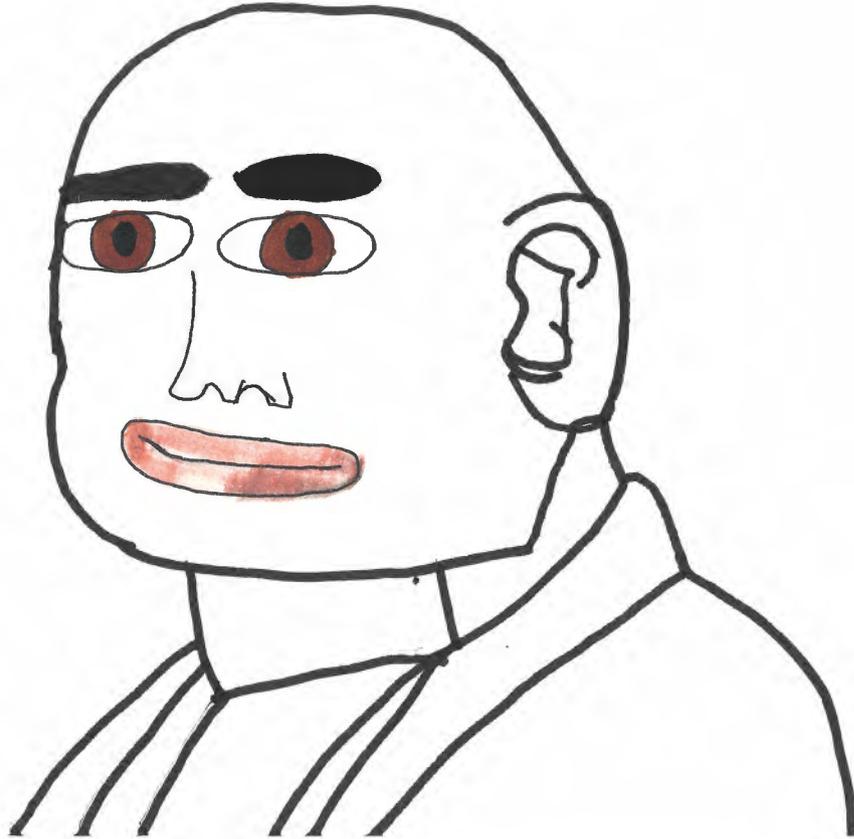








うづきひろし



n 知月 寛(うづき ひろし)

c 「ぼくと君と…?」



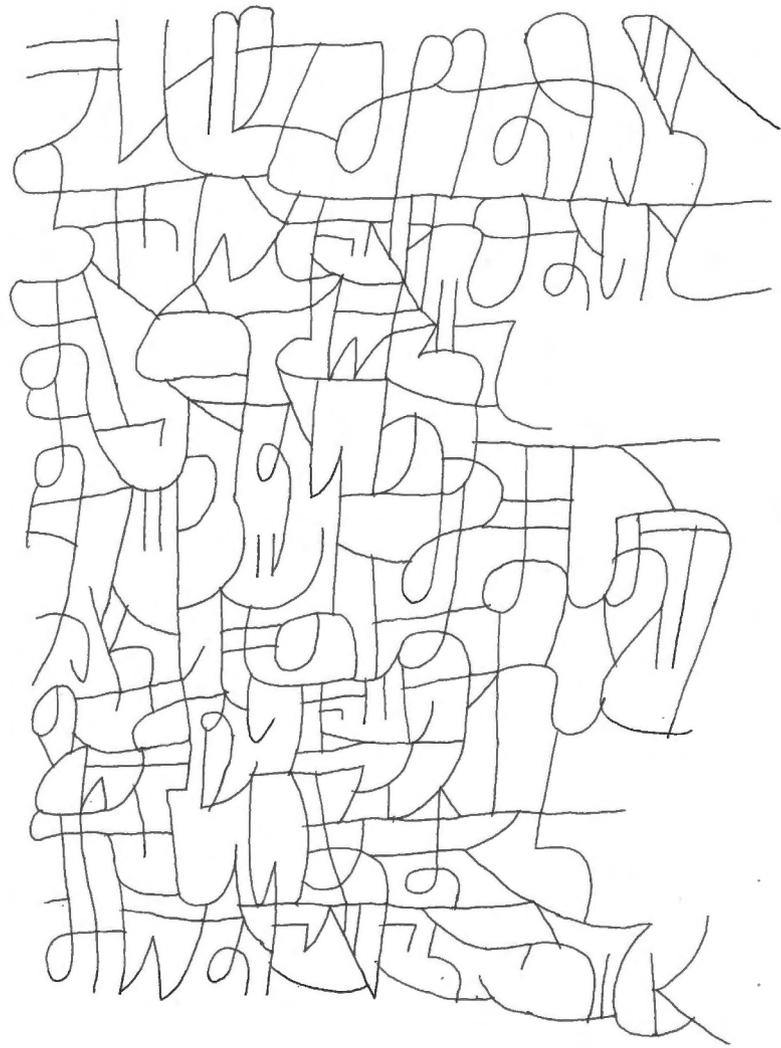












すべては人生観であり
価値観であります。
自分で責任を
持って決めること
です。一度しかない
人生。ですから
こらかにしなやかに













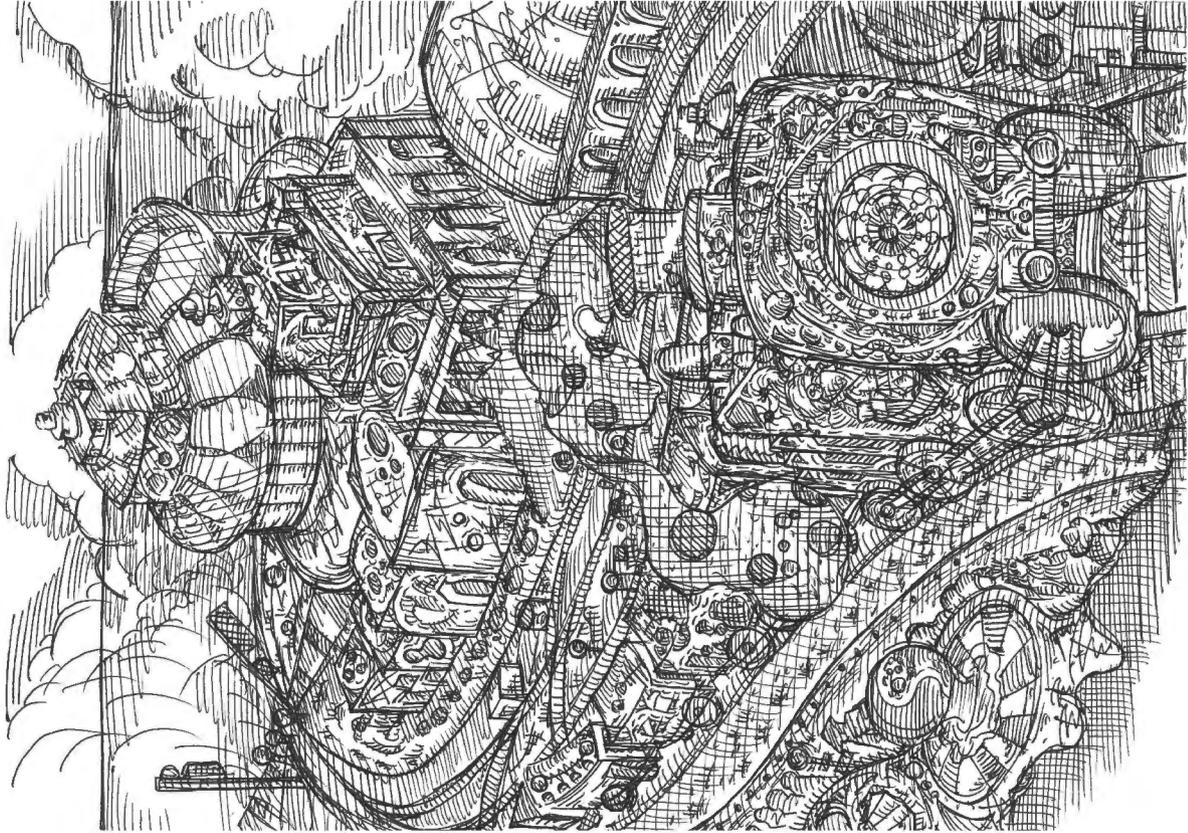
11 廣戸 彩子 (すじあやこ)

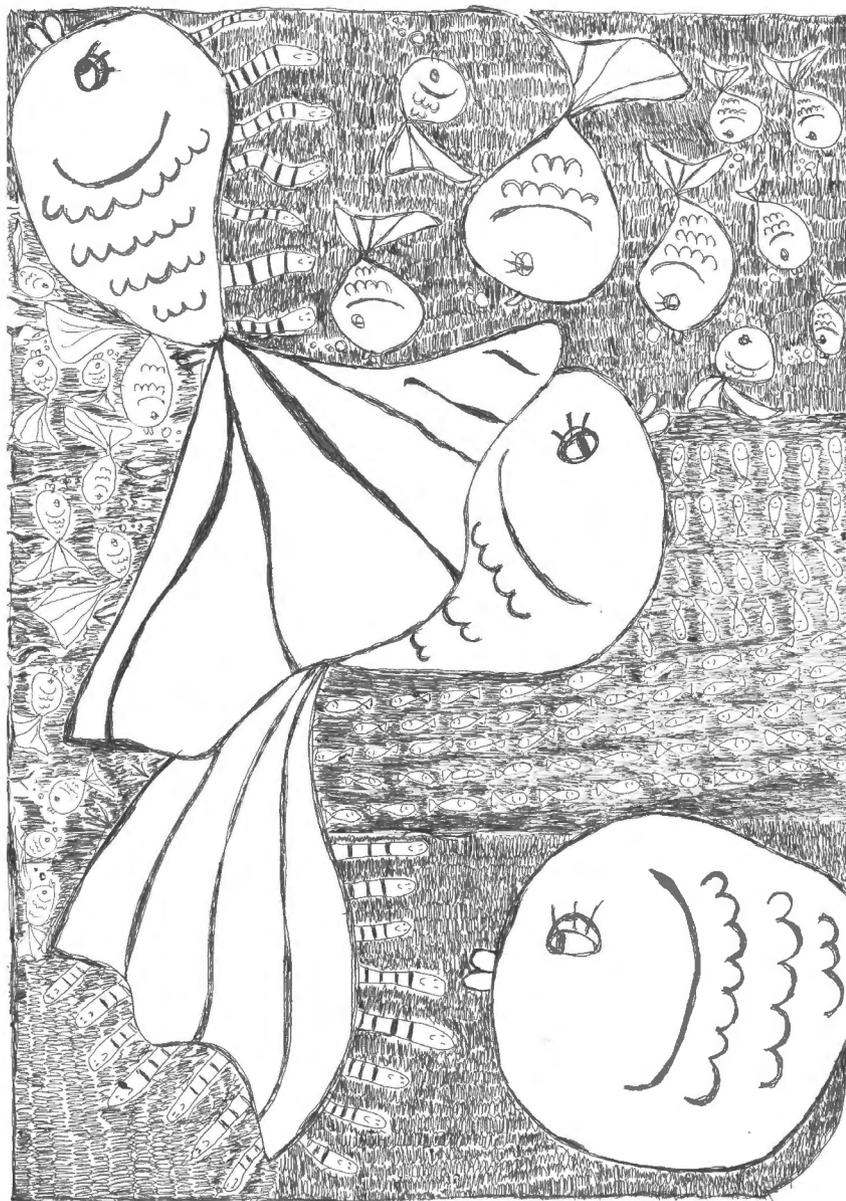
1 「ひまわり畑」





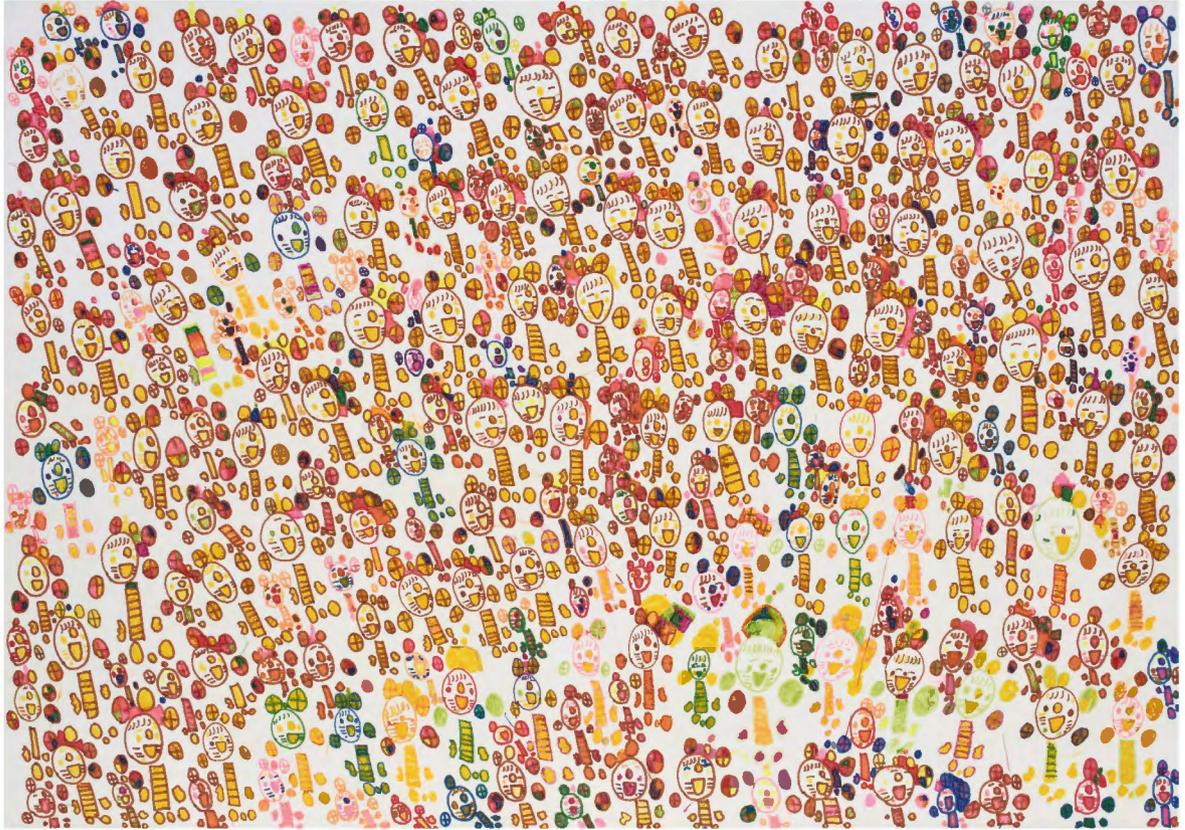
えりこ

















n 仲川 渉(なかがわ わたる)

t 「大好き!!西武線」



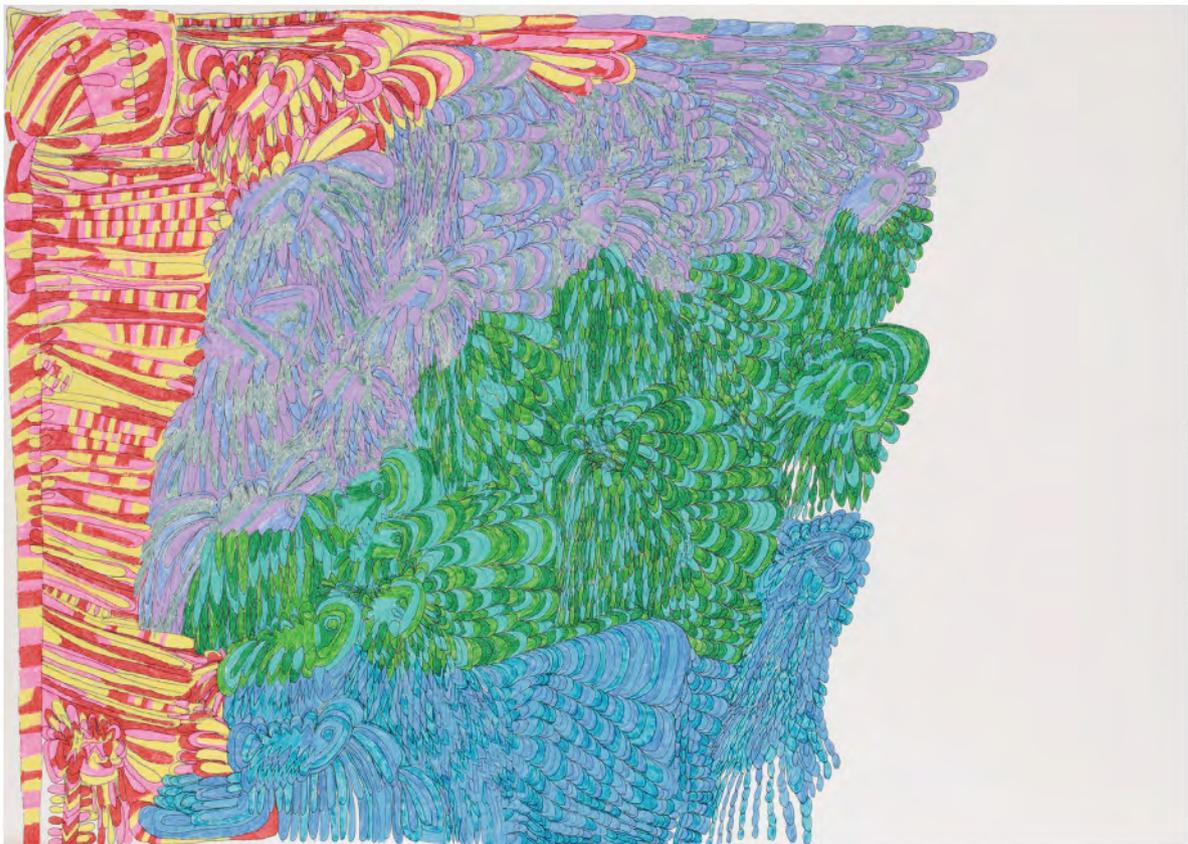
















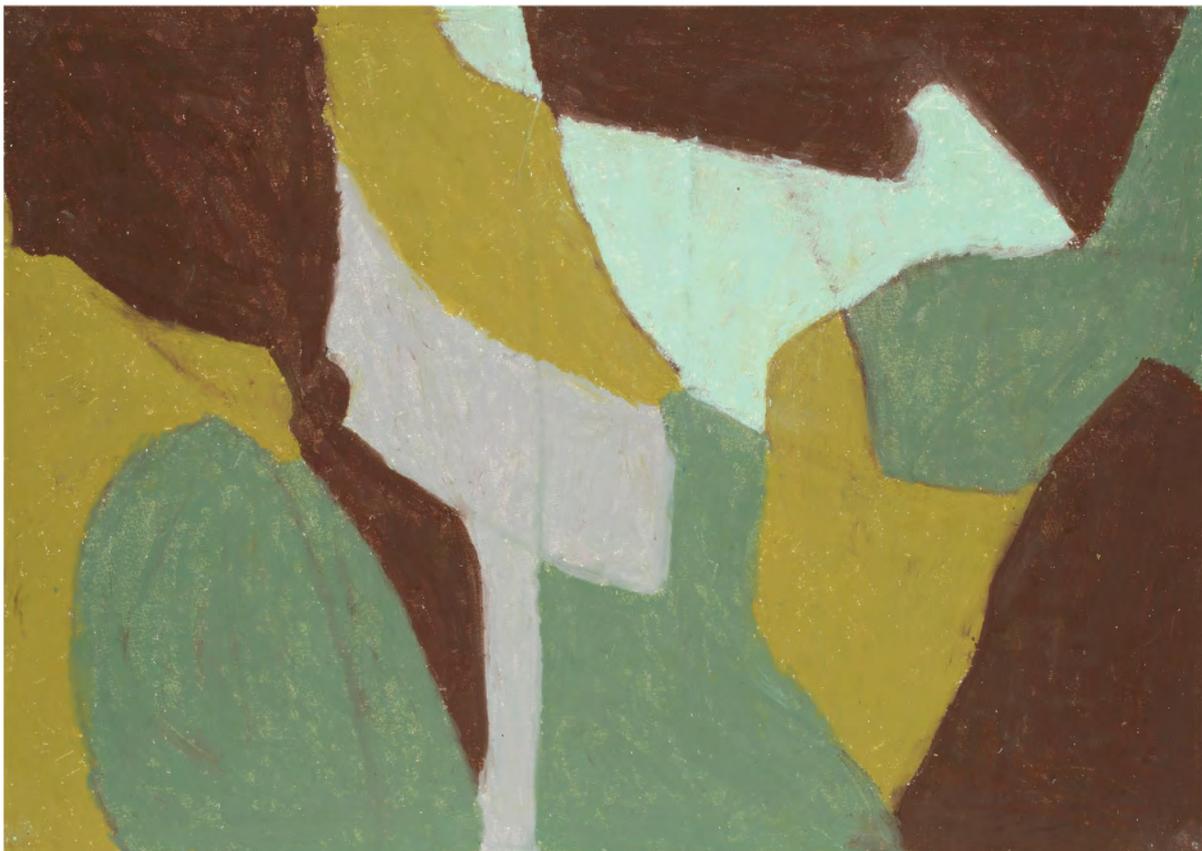




n 福島 尚(ふくしま ひさし)

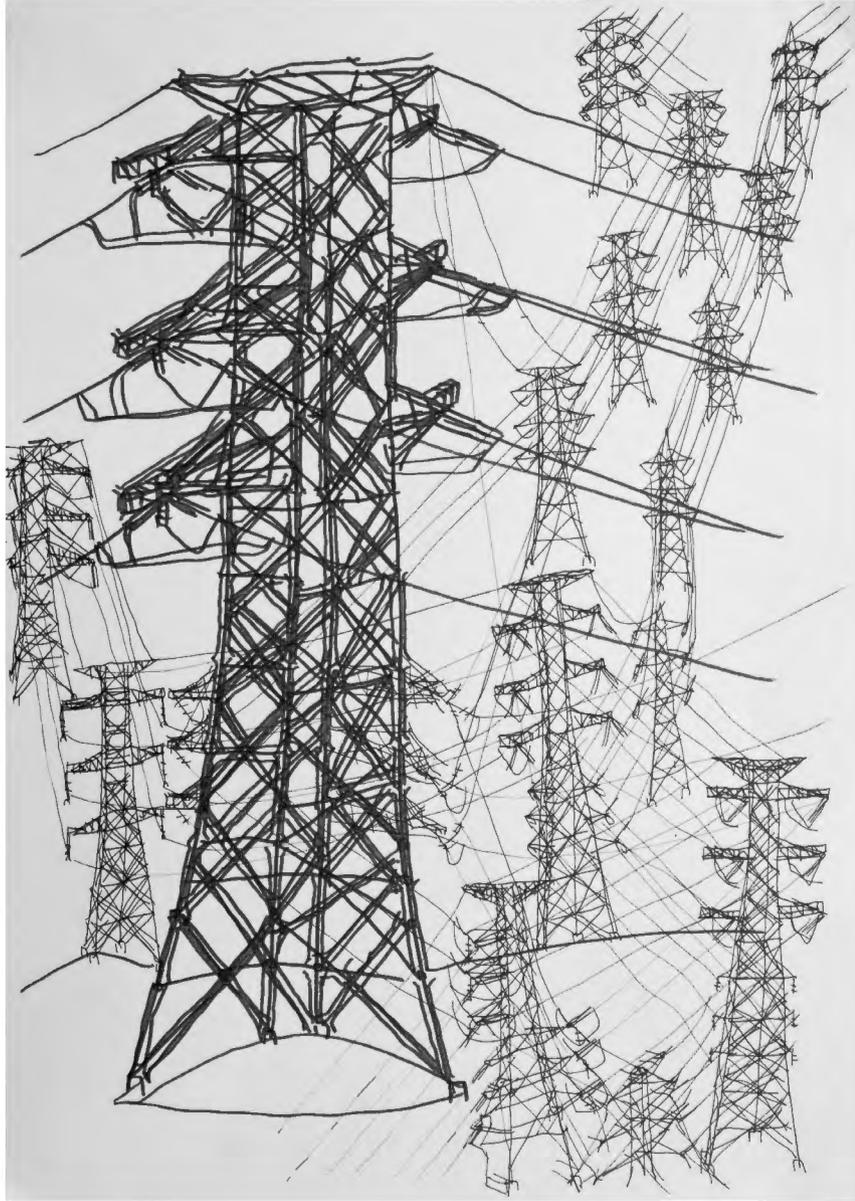
t 「フルーツライナー左沢線キハ101系」

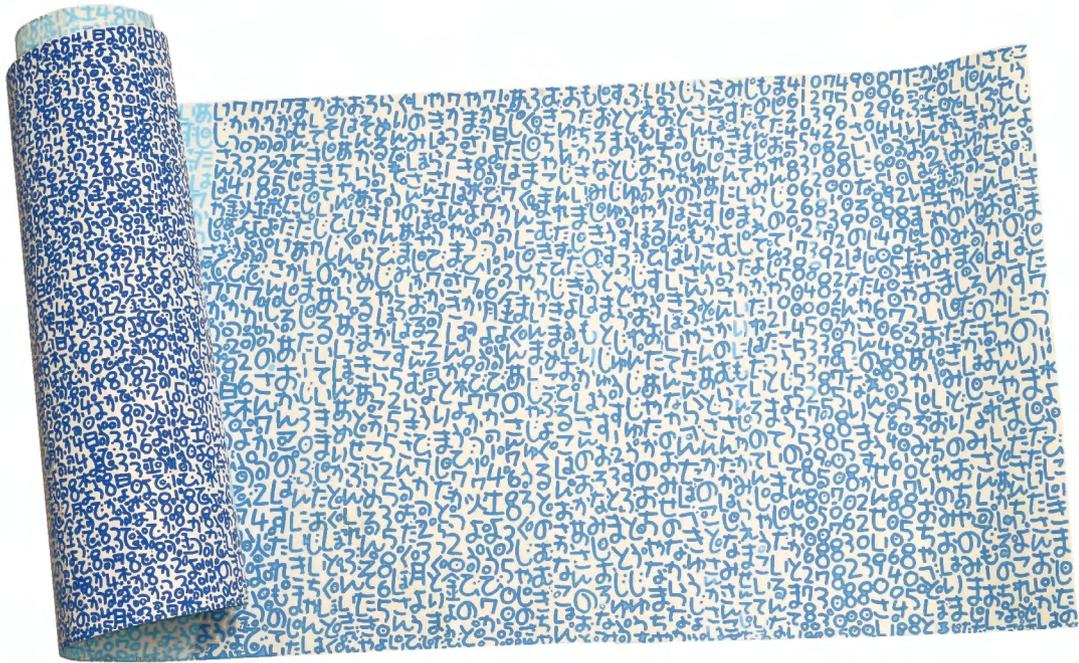








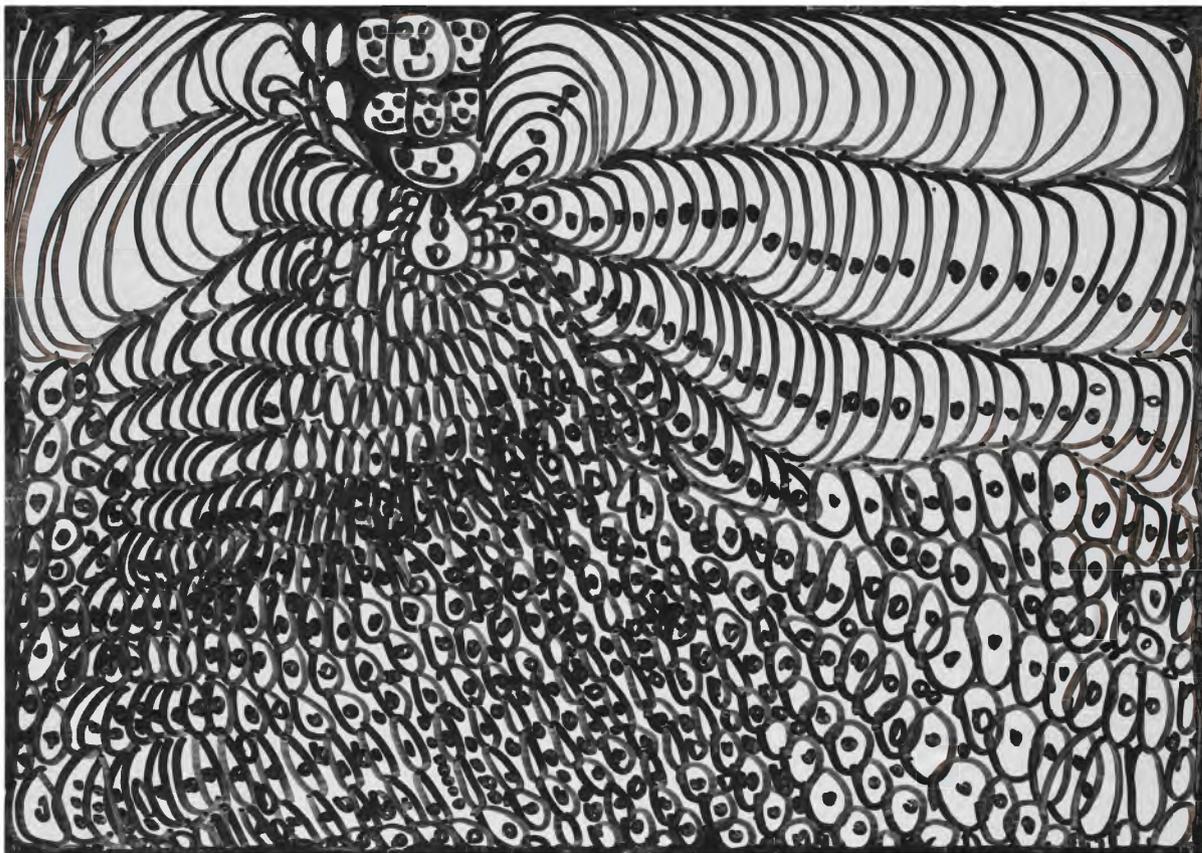








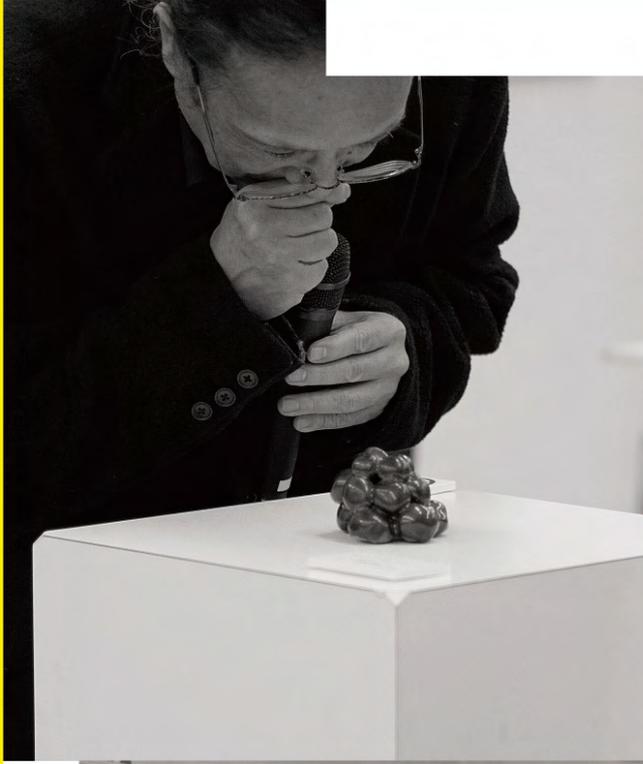






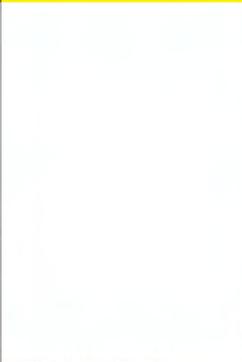
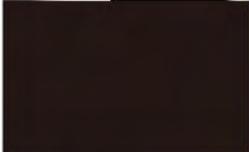
展示協力施設

- (医) 双里会 多機能型事業所わっくす
(公社) やどかりの里 すてあーず
(社福) ウイング ワーク&ライクのびっこ
(社福) 皆成会 光の園
(社福) 川の郷福祉会 おれんじ
(社福) 啓和会
(社福) 久美愛園
(社福) 彩凜会
(社福) ささの会 多機能型事業所ぼとふ館
(社福) 昴 デイセンターウィズ
(社福) 清心会 障がい者支援施設さやか
(社福) 戸田わかくさ会
(社福) 新座市障害者を守る会
(社福) 本庄ひまわり
(社福) 皆の郷 川越いもの子作業所
(社福) めだかすとりいむSELP すいーつぱたけ
(社福) 毛呂病院 光の家療育センター
NPO 法人CIL ひこうせん
NPO 法人織の音アート・福祉協会 織の音工房
NPO 法人くれおん
NPO 法人ハーモニー
NPO 法人ハローハンディキャップ・タイム
NPO 法人ぶどうの会
NPO 法人ゆめたまご
NPO 法人ゆりかご
埼玉県社会福祉事業団 あげお
埼玉県社会福祉事業団 あさか向陽園
ふじ支援センター
鶴ヶ島生活サポートセンター









第九回埼玉県障害者アート企画展 作品集

デザイン

水川 史生 (en design studio)

撮影

今井 紀彰 (作品)、鈴木 広一郎 (展示会場・作品)、
水川 史生 (イベント)、工房集 (展示会場)

編集・発行

社会福祉法人みぬま福祉会

アートセンター集

333-0831 埼玉県川口市木曾呂1445 (工房集内)

電話: 048-290-7355

<http://artcenter-syu.com/>

発行日

2019年3月10日

©社会福祉法人みぬま福祉会

